

## Aquiles Delle Vigne アキレス・デレ=ヴィーネ



ニューヨークタイムズのハロルド・ショーンバーグに「煌くメンデルスゾーンから、貴族的で洗練された魅力的なラベル、そして轟くリストまでを熟せるのは、ごく僅かなピアニストだけである」と評さる。イタリアの新聞ラ・レプブリカは、アキレス・デレ=ヴィーネを「ピアノの貴公子」、ライニツェポストは、「偉大なるピアニスト」と呼んだ。ザルツブルガーフォルクスツァイトウンクは、批評を「静寂とスチールパワー (Von still bis stahlhart)」と題した。

アルゼンチン生まれのアキレス・デレ=ヴィーネは、8歳で初リサイタルを行う。17歳で、クラウディオ・アラウに師事し、アルバート・ウィリアムズにてグランプリを受賞。この賞を機に、世界の主要なコンサートホールでの演奏活動が始まる。ヨーロッパで、エドゥアルド・デル・プエヨ、ジョルジュ・シフラの下で研鑽を積む。

これまでに、日本、オーストラリア、アメリカ、メキシコ、香港、韓国、南アメリカ等でツアーを行う。グシュタード、パリ、ザルツブルク、マドリッド、ソウルのユーロフェスティバル、ベートーヴェンフェスティバル等の主要なフェスティバルに招聘されている他、ユーディ・メニューイン卿、レオポルト・ハーガー、ジョルジュ・オクトール、アルベルト・リジイ、イ・ドンホ、ボゴ・レスコウイチ、ウラディール・キム、エミル・シモン、エドヴァルド・チフジェリ、アンドレ・ヴァンデルノート、エドガー・ドヌー、ケイメン・ゴレミノフ、ホアン・カルロス・ゾルジ、ヘス

ス・メディナ、クラウジオ・サントロ、エンリケ・モレレンバウム、D. マリネスコ、ローラン・プティジラル等々の指揮の下、世界の著名なオーケストラと協演する。

世界のトップクラスの教師として、アキレス・デレ=ヴィーネは、ザルツブルクのモーツァルテウム音楽大学夏期国際音楽アカデミーでマスタークラスを行う。マンチェスターの王立北部音楽大学で客員教授を、台北の国立大学にて員外教授を務めた。また、ニューヨークのジュリアードやマンハッタン、マネス音楽院、モスクワ音楽院、サンクトペテルブルク音楽院、中国の中央音楽学院、中国音楽学院、東京の桐朋学園大学、ミュンヘン、ワイマール、ハンブルクの大学やウィーン、ソウル、シドニーメルボルン、プレトリア、ボルチモア、テキサス、インディアナ、大阪、京都、バンコク、テルアビブ、オスロ、ルッカ、ベルゲン等の大学に、定期的に招聘されている。

シドニー、プレトリア、シンシナティ、厦門、ジョージア、トリノ、パリ、テキサス、カーザ・グランデ、モンテカルロ、ローマ、ワルシャワ等、5大陸で開催されている主要な国際コンクールの審査員や審査委員長を務める他、マスタークラスも行っている。

EMI His Master's Voice、BASF Harmonia Mundi、BMG-RCA Victor、Naxos、Pavane、EMS等のレーベルより発売されている彼の作品は、高く評価されている。また、ローマ法王ヨハネ・パウロ2世のためにヴァチカンにて演奏したオリヴィエ・メシアン作曲の前奏曲は、作曲者に絶賛された。

アキレス・デレ=ヴィーネは、リストの練習曲やラヴェルの室内楽、ベートーヴェンのピアノ協奏曲等に加え、ベートーヴェンによる32のピアノソナタ全曲の録音を終えたところである。